学校番号	２０２

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選現代文Ｂ　新訂版」（大修館）						
副教材等	「字義で覚える常用漢字」（浜島書店） 「大学入試国語頻出問題 1200　四訂版」（いいずな書店） 「改訂版　評論速読トレーニング 1500」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生では社会人として必要な国語の力を身に付け、更に発展させることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンス）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論の内容を理解するⅠ	教材: 「ピジンという生き方」	○			◎	○	a:筆者の使用する語彙の定義を正しくつかみ、考えの進め方や、思考法を的確にとらえようとしている。 d: 筆者の考え方について、日常の具体的な場面設定にあてはめながら主体的に考え、筋道を論理的にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 記述の点検 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト
	評論の内容を理解するⅡ	教材: 「鈴虫の間、ぼくの六畳間」	○			◎	○	a:文章の構成に注意しながら、筆者の主張を正しくつかもうとする。身の回りの当たり前の光景に批判眼を持つ。 d:具体例を手がかりに、文章の内容と論理展開を正しく読み、深めている。 e:評論に用いられる抽象的な語句の把握を中心に、評論文での言葉遣いに習熟する。	a:行動の観察 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト
	小説の内容を理解するⅠ	教材: 「山月記」	○	○		◎	○	a:人物、境遇、心情などを、フィクションを比喩として読み取ることでつかもうとする。 b:他者の考えも聞きながら、自らの思いを他人にも通じるものとしてまとめる。 d:漢語の多い文章を丁寧に読み、文体の持つ力を体感する。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解し、語彙を身につける。	a、b:行動の観察 記述の点検 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト
2学期	随筆の内容を理解するⅠ	教材: 「のんのんばあと妖怪たち」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:文章の筋道を論理的にとらえ話の流れが整理できている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 記述の点検 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト

2学期	評論の内容を理解するⅢ	教材: 「広告の形而上学」	○			◎	○	a:文章の構成に注意しながら、筆者の主張を正しくつかもうとする。身の回りの当たり前の光景に批判眼を持つ。 d:豊富な具体例を手がかりに、文章の内容と論理展開を正しく読み、深めている。 e:評論に用いられる抽象的な語句の把握を中心に、評論文での言葉遣いに習熟する。	a:行動の観察 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト
	小説の内容を理解するⅡ	教材: 「ベルエポック」	○	○	○	◎	○	a:人物、境遇、心情などを読み取り、情景描写、比喩表現を通して作品を読み味わおうとする。 b:他者の考えも聞きながら、自らの思いを他人にも通じるものとしてまとめる。 c:考えを文章で適切に表現する。 d:人物、情景、心情などを、表現方法に基づいて正確につかんでいる。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解し、語彙を身につける。	a、b、c :行動の観察 記述の点検 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト
	詩の内容を理解するⅠ	教材: 「祝婚歌」	○			◎	○	a:すぐれた詩の持つ緊密な構成や心情を読み味わう。 d:人物、情景、心情、比喩表現が意味するものなどを、表現方法に基づき正確につかんでいる。 e:詩の形態や文体の特色について理解している。	a:行動の観察 記述の点検 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト
3学期	小説の内容を理解するⅣ	教材: 「卒業」	○	○		◎	○	a:人物、境遇、心情などを、フィクションを比喩として読み取ることでつかもうとする。 b:他者の考えも聞きながら、自らの思いを他人にも通じるものとしてまとめる。 d:人物、情景、心情などを、表現方法に基づいて正確につかんでいる。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解し、語彙を身につける。	a、b:行動の観察 記述の点検 d、e: 記述の確認 定期考査 e:小テスト
	感想文を書く	作品の内容把握を踏まえ、感想文を書く 教材:ワークシート	○		◎		○	a:授業で学んだ小説内容を踏まえ、自分の考えを深めている。 c:考えを文章で適切に表現する。 e:考えを表現するにふさわしい言葉を適切に選べている。	a:行動の観察 c、e: 記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。